

1 単元 I study Japanese. 「夢の時間割」をつくろう (『Hi, friends! 1』 Lesson 8)

2 指導観

本単元の指導にあたっては、教科を尋ねたり答えたりする英語表現を使って、夢の時間割づくりをしたり、つくった時間割をクイズ形式で紹介したりすることができるようにしたい。

そのために、第1時では、教科や曜日の英語での言い方に慣れることをねらいとしている。そこで、スリーヒントクイズやキーワードゲーム、聞き取りクイズを行い、教科や曜日の英語表現を使って会話をすることができるようにする。第2時では、外国の小学校でどんな学習をしているかを知り、自分たちの学校生活との違いや共通点に気づくことをねらいとしている。そこで、3つの国(オーストラリア、韓国、中国)の学校生活の聞き取りクイズ(『Hi, friends! 1』 p.34)を行い、外国の学校生活に対する興味・関心を高め、教科、掃除、給食の違いや共通点を知り、自分の学校生活以外にもさまざまな学校生活があることにも気づくことができるようにする。第3時では、好きな教科を尋ねたり答えたりすることをねらいとしている。そこで、Yes/No ゲームや好きな教科名を尋ねたり答えたりするインタビューを行い、自分の好きな教科について友達と会話をすることができるようにする。また、次時に夢の時間割を作成するので、時間割カードに自分の夢の時間割を考えさせて書かしておく。第4時では、夢の時間割をつくって紹介することをねらいとしている。そこで、教科を尋ねるグループと答えるグループに分かれて夢の時間割をつくらせ、できあがった時間割をクイズ形式で紹介したり、夢の時間割やオリジナル教科をつくった理由も発表したりすることができるようにする。第5時では、グループで夢の時間割をつくって紹介することをねらいとしている。そこで、グループで話し合っって夢の時間割をつくって紹介させ、紹介した時間割の中から5年2組の夢の時間割を決めさせたい。特に本時(第4時)では、夢の時間割づくりやクイズで紹介する活動を行い、相手やクラス全体を見て、はっきりとした声で繰り返し尋ねたり、尋ねられたことに反応を返したりしながら会話をさせたいと考えている。

そのために、まず[Warming up]ではキーワードゲームを行い、“What do you study on ~?” “I study ~.”の言い方に慣れさせる。次に、[Main activities]では教科を尋ねるグループと答えるグループに分かれて夢の時間割をつくらせる。その際、相手を見て、はっきりとした声で繰り返し尋ねたり尋ねられたことに反応を返したりして会話をさせたい。そして、できあがった夢の時間割をクイズ形式で紹介させる。その際、数名の時間割を掲示して、“What do you study on ~?” “I study ~.”のやりとりを通して、どれが誰の時間割か当てさせる。また、紹介したのち、夢の時間割やオリジナル教科をつくった理由も発表させたい。最後に[Looking back]では、振り返りカードを使って本時学習を振り返らせ、自分や友だちのつくった時間割で理由を明確にした時間割のよさを賞賛させたり、♪“Sunday, Monday, Tuesday”(『Hi, friends! 1』 p.34)を歌ったりして、本時学習のまとめとしたい。

3 目標

- (1) 夢の時間割づくりをする活動を通して、相手やクラス全体を見て、はっきりとした声で繰り返し尋ねたり、尋ねられたことに反応を返したりして、自分たちがつくった夢の時間割を紹介する。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 教科を尋ねたり答えたりする表現 “What do you study on ~?” “I study ~.” を使って夢の時間割づくりやクイズでの紹介をする。
(外国語への慣れ親しみ)
- (3) 世界の小学校の学校生活に興味をもち、日本と外国の小学校で学習する教科の違いや共通点を知り、多様なものの考え方があることに気づく。
(言語や文化に関する気づき)

4 計画(5時間)

- (1) 教科や曜日を英語で発話させる。 1時間

- (2) 外国の小学校でどんな学習をしているかを知り，自分たちの学校生活との違いや共通点を見つけさせる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (3) 好きな教科を尋ねたり答えたりさせる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (4) 夢の時間割表をつくって紹介させる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間（本時）
- (5) グループで夢の時間割表をつくって紹介させる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

5 本時のねらい

- 教科を尋ねたり答えたりする表現（“What do you study on ~?” “I study ~.”）を使って，相手やクラス全体を見て，はっきりとした声で繰り返し尋ねたり，尋ねられたことに反応を返したりして，夢の時間割をつくったり，つくった時間割をクイズ形式で紹介したりする。
- ペアやいろいろな人とキーワードゲームをしたり，教科を尋ねるグループと答えるグループに分かれて夢の時間割づくりをしたりする中で，“What do you study on ~?” “I study ~.”を使って活動する。

6 準備 『Hi, friends! 1』，学習プリント，電子黒板，時間割表

7 展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
つ か む ・ 見 通 す / つ く る	<p>〔Warming up〕</p> <p>1 始めのあいさつをする。 Hello, Mr. Komiya. I'm fine, thank you. How are you?</p> <p>2 ペアやいろいろな人とキーワードゲームをする。 What do you study? I study Japanese, Japanese, math, science, social studies, music, P.E., home economics, arts and crafts, English, calligraphy.</p> <p>3 今日のめあてを確認する。</p>	<p>○笑顔で明るい雰囲気をつくり，あいさつをする。 Hello, everyone. How are you today? I'm fine, thank you.</p> <p>○単調な繰り返しにならないように，まず単語で行い，そのあと文にする。また，始めはゆっくり，慣れてきたらスピードを上げて行ったり，子ども同士で行わせたりする。</p> <p>○めあてを確認させ，夢の時間割をつくって発表しようとする意欲を高めさせる。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて></p> <p>教科名を尋ねたり答えたりしながら夢の時間割を作って紹介し合おう。</p> </div> <p>〔Main activities〕</p> <p>4 「夢の時間割づくり」や「クイズ形式で紹介」をする。</p> <p>○教科を尋ねるグループと答えるグループに分かれ，教科を尋ねるグループは，聞き取った教科名が書かれたカードを時間割のワークシートに貼って，相手グループの夢の時間割表をつくる。</p> <p><対話例></p> <p>A: 教科を尋ねるグループ B: 教科を答えるグループ Aを8グループつくり，1つのグループは1，2人。</p> <p>A: What do you study?</p>	<p>○活動の見通しをもたせるために，「夢の時間割づくり」や「クイズ形式で紹介」をすることを知らせる。</p> <p>○教師と子どもでモデルを示し，時間割づくりの仕方を説明する。</p> <p>○相手を見て，はっきりとした声で繰り返し尋ねたり，尋ねられたことに反応を返したりさせるために，活動の途中でよい会話をしている子どもをほめてよさを広げる。</p>

<p>学 び 合 う</p> <p>／ ま と め る</p>	<p>B: I study Japanese and music. A: Japanese and music. OK. B: Yes. A: Here you are. (教科のカードを渡す) B: Thank you. A: You're welcome.</p> <p>ほかの場所に行き, この活動を繰り返す。集まったら教科のカードを時間割表に貼っていく。時間(10分程度)になったらAとBを交代する。</p> <p>○ 1つのグループの時間割表を集め, みんなに見せて夢の時間割をクイズ形式で紹介する。</p> <p>A (全員): What do you study? B (代表者): I study ~, ~, and ~.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の時間割の1つの曜日の教科を答える。 ・その教科をヒントに前にある時間割表のどれが子どものものか答える。 ・クイズが終わったら夢の時間割とオリジナル教科の紹介とつくった理由を発表する。 <p>[Looking back]</p> <p>5 学習プリントに会話の楽しさや新しい気付き, 友達のよいところなどを書いて発表し, 本時学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君の時間割は△△の教科が続いてあるのでおもいきり活動できると思います。 ・○○さんは, 尋ねられたことにはっきりとした声で答えていました。 <p>6 ♪“Sunday, Monday, Tuesday”を歌う。 (『Hi, friends! 1』 p.34)</p> <p>7 終わりのあいさつをする。</p> <p>Thank you. Good-bye, Mr. Komiya. See you.</p>	<p>○友達の時割がどれか予想し, しっかり聞いて答えさせる。</p> <p>○正解したら“That’s right.”, 違っていたら“That’s wrong. Never mind.”と声をかけさせる。</p> <p>○次のヒントが欲しいときは, “Next hint, please.”と言うようにさせる。</p> <p>○会話の楽しさや新しい気づきなどを広げるために, 学習プリントを使って振り返りをさせる。</p> <p>○振り返りを入れて, 電子黒板の音声と一緒に元気よく歌わせる。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p> <p>That’s all for today. Good-bye, everyone. See you next time.</p>
---	---	--

教科を尋ねるグループと答えるグループに分かれ, 教科を尋ねるグループは, 聞き取った教科名が書かれたカードを時間割のワークシートに貼って, 相手グループの夢の時間割表をつくる。